

2024 年 6 月吉日

施設長 殿

一般社団法人日本臨床エンブリオロジスト学会

理事長 家田 祥子

学術委員会委員長 菊地 裕幸

ART 成績調査ご協力のお願い

謹啓 向暑の候、先生方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素より日本臨床エンブリオロジスト学会にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本臨床エンブリオロジスト学会では、ART ラボに必要とされる適切な技術を普及
すべく、年 2 回開催されるワークショップにて顕微授精、胚凍結・融解、PGT Biopsy
手技をはじめとした実技講習を行っております。また、日々の臨床で目標となる数値を
提示する必要があると考え、主要な ART 施設における受精率や胚凍結・融解後の生存
率などの重要な指標（KPI; Key Performance Index）の平均値などを集計し、広く会員
が所属する施設に公表する活動をしてまいりました。
今年度におきましても、全国の会員の皆様が所属されているご施設を調査対象とし、国
内におけるラボの目標となる指標作成をしていきたいと考えております。

つきましては、日本臨床エンブリオロジスト学会員の皆様が所属されているご施設の
2023/1/1～2023/12/31 1 年間の ART 成績を調査させていただき、これらの数値を集
計し、複数施設における臨床調査として、今年末に発行予定の日本臨床エンブリオロジ
スト学会誌に掲載させて頂きたいと考えております。

ご施設が特定されるような形式での数値の公表はございません。掲載の際、差支えなけ
れば協力施設としてご施設名を公表させて頂きたいと思っております。

学会雑誌の編集・印刷の都合上、**2024 年 8 月 10（土）**までに提出いただけますと幸
いです。調査シートを添付させていただきますので、ご参照ください。

ご検討の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

謹白